

# 市長が行く

## 圏央道開通一年が経過して

No.64

茂原市長 田中豊彦



圏央道が開通して、早いもので、一年あまりが経過しました。まだ、成田空港周辺の大栄・横芝間ができていないため、環状線としての役割は果たせていませんが、それでもかなり、交通の利便性は増しました。

ところが、当初はもつと利用者が増えるものと思われていましたが、今のところ、県外からはゴルフ客の利用が増えてはいるものの、それ以外の観光の面ではいまひとつ盛り上がり欠けているようです。千葉県は半島なので、ここを通り過ぎてどこかへ行くということがないため、よりいつそう人の心をひきつけるものが必要なかもしれません。

しかし、この地域には、ディズニールランドのような大規模なテーマパークや多くのお客さんを楽しませる通年型のアトラクションや催し物もなく、また宿泊施設もあまりありません。茂原の七夕まつりは有

名でも、一過性の行事のため、交通量を格段に増やすことにはつながらないようです。

今、中房総の市や町の間で、圏央道をもつと有意義に利用してもらえよう、お互いの観光資源をうまく組み合わせる仕組みを検討しています。

一つの例として、袖ヶ浦のドイツ村へ行き、真名（生命の森リゾート）で昼食をとり、ひめはるの里に寄って帰る「はとバスツアー」が最近企画されました。千葉県でも森田知事を中心に「ちばデスティネーションキャンペーン」として、産業としての観光の推進に取り組んでいるところですが、2020年の東京オリンピックの開催を見据え、東京・成田間の中心に位置するこの地域を、おおいにアピールしていくことが必要と考えます。

一方、アクアラインを使った高速バスですが、東京、新宿、品川、羽田、川崎、横浜に一日あたり袖ヶ浦から

400便、木更津から200便出ているので、茂原から袖ヶ浦と木更津に高速バスをピストン運行できないか検討してもらおうようお願いしているところです。現行の市原・鶴舞経由の高速バスにそれらが増してくるのではないかと思います。いずれにしても、圏央道をもつとどうまく利用することにより、茂原市の魅力がアップしていくように、今後

も頑張っていく所存です。茂原市は、気候も温暖で、海の幸や山の幸にも恵まれた首都圏の中でも恵まれた環境にある市です。この上、交通の利便性が向上されれば、人口の増加にもつながっていくことと期待しています。

